

投稿例（実物大）

タイトルはゴシック体14pt太字で中央

研究者名（所属校名）は
明朝体12ptで右寄せ
共同研究者についても同じ

条件の提示による 時の 概念の意識変容に関する研究

見出しはゴシック体10.5pt太字

臨床介（ 大学大学院）
投稿 例子（ 大学）

要約

本文は明朝体10.5pt

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における を取り入れた授業についての教師の意識を明らかにすることである。第2は、既習前に 条件（ 的 を生じさせる条件）の提示による 効果、 効果（ 度と 的影響）を意識変容から検討することである。第3は、既習前に 条件を提示することが、 として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

キーワード 学び合い、人間関係、意識変容

問題の所在

最近の 教育では、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に問題解決できる能力が求められる。特に後者の点については、学習者がおかれる 的 が される授業を構築しなければならない。現在まで、 的 が生じることにより 的 がなされ、 効果につながる例が多く報告されている。

・ (1994)は、 概念を通して 提示における概念変容の研究を行った¹⁾。それによると、事象をうまく できないときに 的 が生じ、その のために概念変容が起こると捉えている。つまり、概念

各引用箇所には
1)2)3)の順に
右上付けで入れ

本文 横22字
行数 43行とする。

余白は
上下25mm
左右20mm

引用文献

1) . :「 提示における生徒の概念の変容 - を事例とした 概念に関して - 」, 学会研究紀要, Vol. , 1994

著者名：「論文名」, 雑誌名, 巻, 頁, 発行機関
または発行所, 発行年
著者名：「単行本」, 頁, 発行所, 発行年